



教職に就くことを見据えて全学生に障害に対する基本的姿勢を身につけさせたい！

(2009年のシンポジウムにて)

学内の声

2013年は・・・

あれ？利用学生の顔と名前が一致しない

どんな活動をしているの？

ノートテイクの時いつも新しい紙で何だか申し訳ないなあ



支援学生

情報交換会や練習会を開いても参加者が少なく、いつも同じ・・・



学生運営スタッフ



一般学生



利用学生

聴覚障害学生の在籍数が増加、支援学生の在籍するコース・専攻が多様化！しかし一方で解決できない悩みも・・・

宮城教育大学の特長

ボランティア制・キャンパスが一つのみで集まりやすい  
多方面のコース／専攻に支援学生が在籍している・アットホームな雰囲気のある大学！

本学の特長をうまく生かせないだろうか？

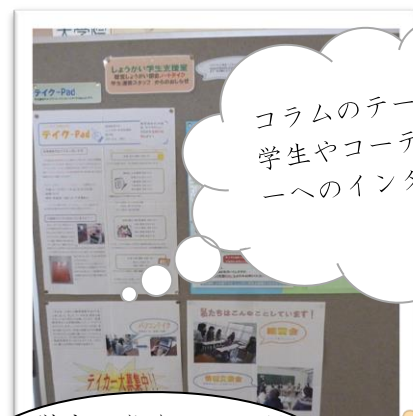
学生運営スタッフの工夫

利用学生主催の懇親会！

掲示板にコーナー設置とコラム



多くの学生が企画に参加し、学生同士で交流する機会ができた！



コラムのテーマは利用学生やコーディネーターへのインタビュー等

学内の多くの人々が目にする場所に設置されています

当初は予想していなかった変化まで・・・！

支援室に興味を持つ教員が増加し、

- ・教員から裏紙回収の呼びかけや字幕依頼の増加
- ・直接関わりのない課(学務課, 管理棟など)の職員からの協力

集まった裏紙



学生が自ら考え、積極的に企画に取り組むことができた

支援に取り組む姿が多方面に伝わり、教職員も含め大学全体で支援を考える機会が増えた

今後の課題・・・利用学生・支援学生・教職員の求めるニーズの適切な把握方法を定め生かしていくこと

問い合わせ先

宮城教育大学 しょうがい学生支援室

TEL・FAX 022-214-3651 /E-mail Support-Coordinator@ml.miyakyo-u.ac.jp